

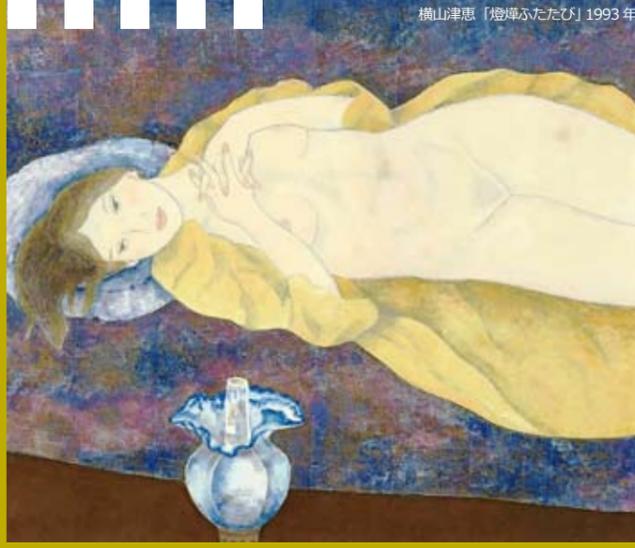
平成 24 年度第 III 期コレクション展

横山津恵－燈燐ふたたび－

10月11日(木)－平成25年1月14日(月)

第3期のコレクション展では、日本画家・横山津恵をピックアップしました。初期から晩年に至るまで、50年に渡る横山の画業をダイジェストでご紹介しました。

中でもひととき存在感を放っていたのが、展覧会のタイトルとして取り上げた「燈燐ふたたび」(平成5年)です。これは、横山が昭和53年の春の院展に出品し、そのまま手元にもとってこなかった「燈燐」という作品を思いながら仕上げたもので、断筆の2年前に発表されました。15年という時を経て画家の心に残り続けていたという「燈燐」の消息を、館としてもとり続けているのですが、残念ながら今のところ手がかりはつかめていません。いつか、この2枚の絵を並べて皆さんにお見せできる日が来るように、引き続きアンテナを巡らせていたいと思います。(担当：奈良)



横山津恵「燈燐ふたたび」1993年

セカンドスクールのご利用ありがとうございました。

小学校 75 校、中学校 18 校、高校 6 校、特別支援学校 3 団体
幼稚園・保育所 7 園・のべ 109 団体、4,838 人 (1 月 31 日現在)

- | | | | |
|------------|---------|--------|---------|
| 吉田小学校 | 植田小学校 | 横堀小学校 | 北陽小学校 |
| 横手南小学校 | 元西小学校 | 湯沢西小学校 | 船川第一小学校 |
| 睦合小学校 | 西馬音内小学校 | 須川小学校 | 野石小学校 |
| 皆瀬小学校 | 三輪小学校 | 三関小学校 | 鶴木小学校 |
| 増田小学校 | 四ツ屋小学校 | 駒形小学校 | 脇本第一小学校 |
| 醍醐小学校 | 藤木小学校 | 川連小学校 | 船越小学校 |
| 十文字第一小学校 | 東大曲小学校 | 小野小学校 | 船川南小学校 |
| 栄小学校 | 西仙北小学校 | 秋ノ宮小学校 | 横手明峰中学校 |
| 境町小学校 | 花館小学校 | 東成瀬小学校 | 金沢中学校 |
| 黒川小学校 | 高梨小学校 | 直根小学校 | 鳳中学校 |
| 金沢小学校(横手市) | 清水小学校 | 笹子小学校 | 平鹿中学校 |
| 金沢小学校(美郷町) | 太田東小学校 | 象潟小学校 | 皆瀬中学校 |
| 浅舞小学校 | 太田北小学校 | 川内小学校 | 十文字中学校 |
| 朝倉小学校 | 大川西根小学校 | 小出小学校 | 西目中学校 |
| 旭小学校 | 花館小学校 | 五城目小学校 | 男鹿南中学校 |
| 千屋小学校 | 豊川小学校 | 大川小学校 | 湯沢中学校 |
| 六郷小学校 | 太田南小学校 | 弘戸小学校 | 御野場中学校 |



セカンドスクール・清水小学校・10月22日

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 将軍野中学校 | 増田高等学校 | 睦合保育所 |
| 河辺中学校 | 五城目高等学校 | ますだ保育園 |
| 志波姫中学校(宮城県) | 大曲農業高等学校 | 十文字こひつじ幼稚園 |
| 横手城南高等学校 | 横手養護学校 | 船川保育所 |
| 六郷高等学校 | 仙北市特別支援教育の会 | いつみ幼稚園 |
| 湯沢翔北高等学校 | 秋田きらり支援学校 | |

12 2012 年度・下半期の美術館レポート

- 特別展**
- 岩合光昭写真展「いぬ」 9.29-11.25
- 企画展**
- 美術館の眼VI展 10年間の収集記録 前期 11.30-2013.2.3 後期 2013.2.6-4.14
- コレクション展**
- 第3期 横山津恵－燈燐ふたたび－ 10.11-2013.1.14
 - 第4期 平福穂庵－穂庵のひらめき－ 2013.1.25-4.7

i information

■これからの展覧会■

- 特別展**
- 岩合光昭写真展「どうぶつ家族」 4.20-6.26
 - 藤城清治展 光のシンフォニー 7.6-9.8
 - ジバング展 沸騰する日本の現代アート 9.14-11.10
- コレクション展 Art Report Akita 2013**
- 第1期 巴里の小西正太郎(仮題) 4.10-7.7
 - 第2期 勝平得之が歩んだ道(仮題) 7.10-10.6

美術館 HP はもちろん、「秋田県立近代美術館」を検索!

- つくる、しる、たのしむ
- みんなで作る 小学生低学年以下の児童から一般まで参加できます。小学生低学年以下の児童が参加する場合は保護者要同伴。
- 木のクラフト教室 8.4
- 専門的につくる 中学生以上一般を対象にしています。
- 日本画教室 6.1,2 (連続2回)
- 油彩画教室 6.9,23,7.21 (全3回)
- しる・たのしむ
- ミュージアムコンサート 6.16,7.14,12.21,2014.2.9

秋田県立近代美術館
Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)
休館日 12/29-31、2014/1/14-23(予定)
交通 車●秋田自動車道・横手インターより3分
バス●横手バスターミナル(JR横手駅近く)～ふるさと村 15分

■2013年3月31日発行
■発行編集・秋田県立近代美術館
013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46
TEL0182-33-8855 FAX 0182-33-8858
E-mail akitamma@rnac.ne.jp
■デザイン・T.Yamamoto ■印刷・三森印刷
■表紙背景写真「夕陽と白鳥」撮影：菊地信夫

今年も熱い、熱いアートがもりだくさん。

ARK no.65

秋田県立近代美術館ニュース・アーク

Akita Museum of Modern Art



みなさん、モテルさんを見ていますか?
10月21日・美術館教室・彫刻教室



木の遊具にナギシヤギ!!!
11月21日・出前美術館・船川第一小学校



さて立ち会い
コレクションにまつわるエピソード満載です。
12月1日・美術館の眼VI前期ギャラリートーク



いろいろな楽器のアンサンブルで
楽しませてくれました。
2月10日・横手清陵学院・吹奏楽部 アンサンブルコンサート



秋田犬(秋田県・大館市) © MITSUAKI IWAGO

自然と顔がほころびます。最高！岩合光昭写真展

平成24年 9月29日(土) - 11月25日(日)

特別展レポート

大好評だった平成22年度開催の「ねこ」に続き、世界的動物写真家・岩合光昭氏による初の本格的な「いぬ」の写真展。展示室は40年に及ぶ写真家生活の中で撮影してきた日本、そして世界各国の犬たちの写真202点で埋め尽くされ、犬好きな方はもちろん、男女問わず幅広い年齢層の方々に楽しんでいただくことができました。会場を訪れた方は、最初の展示室で「日本犬」の写真を見て、まずは「かわいいー！」という感想をもらし、その後「我が家の犬は…」という会話が始まります。犬は家族の一員であり、人と密接な関係がある動物と改めて感じる展覧会でした。

岩合氏の写真の魅力は何なのか日ごと考えながら作品を見ていました。「かわいいだけではない」「犬だからこそこの迫力」といった、見えるものばかりに視点が向いてしまいがちでしたが、どの写真にも共通している「自然全体を意識していること」ということではないかと思えるようになりまして。後日、「ぼくが撮りたい『動物写真』は地球が呼吸していることを実感できるような瞬間だ。」という岩合氏の言葉をその著書で見つけ、深く納得した次第です。

(担当・田村)

□ギャラリーツアー:10月7日、28日



熱心に見入るお客様・岩合光昭写真展

美術館の眼VI

10年間の収集記録 2004-2013

前期●平成24年11月30日(金)～平成25年2月3日(日)
後期●平成25年2月6日(水)～平成25年4月14日(日)

凸凹コンビは如何に？

企画展レポート

新収蔵品を紹介する「美術館の眼」も6回目を数えます。今回は平成16年から20年までに収集した作品から前後期で80点あまりを展示しました。中には収蔵以来初めての展示となった作品もありました。みなさんお楽しみいただけましたか。

調査対象の作品が約250点、さすがに一人ではたいへんと今年度美術館に赴任した新人・藤井さんと研修員の藤原さんにお手伝いしてもらいました。それでも作品調査にはずいぶん時間がかかります。例えば画面に書かれたサインを読むのも一苦労でした。日本画や書になるとりあえず書いている字を解説するところから始まります。こうした苦労が第4展示室に置かれた解説シートに結実しています。お手元にある方は是非もう一度読みなおしてください。

ギャラリートークは学芸員2人による掛け合いを試みました。「屏風に描いたのはなぜ?」「立っている人の足が画面に描かれていないのは?」など絵を見て感じる素朴な疑問にお互い答えていきます。アドリブではありませんが、凸凹コンビの息はぴったり、でした(?)。今後もしろいろ趣向をこらし、みなさんに美術の素晴らしさ、楽しさを伝えてゆきたいと考えています。

前期のギャラリートークには書家の高橋東香さんが飛び入りで加わり、自作について熱く語っていただきました。「変体かな」の美しさ、心を映す百人一首に日本文化の奥深さをあらためて感じました。作家の方たちとあらためて作品についてお話しできるのも「美術館の眼」ならではかも知れません。「美術館の眼VI」後期もご期待ください。

(担当・山本、藤井)

□ギャラリートーク:12月1日、2月9日



12月1日・自作を語る高橋東香さん・ギャラリートーク



出前美術館・男鹿市出身の紺野五郎の作品の前で



子ども学芸員、大活躍

出前美術館レポート

ARTが学校にやってきた in くら学校・船川第一小学校

(男鹿市立船川第一小学校・11/17-22)

「出前美術館」は、鑑賞体験がどこの学校でもできるようにと、来館が難しい地域の学校に出向いて実施している展覧会です。これまで鹿角市や能代市、八峰町、二ツ井町などで開催し、学校だけでなく地域の方々にも当館の作品を楽しんでいただいています。8年目を迎えた今年度は、男鹿市立船川第一小学校を会場に、5日間開催しました。

今回は初めての試みでしたが、事前(6～7月)に当館職員が授業を支援して作品作りに取り組みました。できあがった子どもたちの作品は、当館の作品と同じスペースに展示され、たくさんの方に見ていただくことができました。また、5・6年生は、「子ども学芸員」として活動することになり、あらかじめ美術館から送られた作品の情報をもとに、自分が担当する作品を選び、学習を深め、地域の方々や下級生の前で作品について自信をもって話すことができました。期間中は、男鹿市教育委員会が手配してくれたバスを利用して市内の幼稚園や学校からたくさんのお子どもたちが来てくれました。また、保護者や地域の方々にも展覧会を楽しんでいただく事ができました。5日間の開催でしたが、1,736人の方が出前美術館に足を運んでくれました。

これからも会場校や関係機関と連携をとりながら、子どもたちや地域の方々へのより良い鑑賞体験の機会を作っていきたいと考えております。お近くの学校に「出前美術館」がやってきたら、ぜひ、一度お立ち寄りください。そして当館の作品を、じっくりお楽しみいただけたらと思います。

(担当・三浦、榎尾)



出前美術館・かばさんを紹介しています。

美術館にもきてね!!

ネットワーク事業 県立図書館と連携した展覧会

この事業は、秋田市にある県立図書館の特別展示室に当館の作品を展示し、来館された方々に美術品を楽しんでいただいているものです。図書館からは展示品に関する資料の提供や閲覧コーナーの設置など展覧会に興味関心が深まるような工夫をしてもらいました。今年度は、第1期に日本画家高橋萬年、第2期に洋画家伊藤彌太の作品を展示しました。

第1期の高橋萬年展の会期中に行われた「秋田ふるさとセミナー」(県立図書館主催)では当館の河野元昭館長が「日本美術院と高橋萬年」と題して講演をしました。歴史や作家の話の中に、館長のユーモアあふれる話もとびだし、あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、熱心にメモをとる参加者が多く、秋田市出身の高橋萬年や日本美術院について興味のある方がたくさんいることをあらためて感じました。

どちらの展覧会もたくさんの方に鑑賞してもらうことができました。これをきっかけに横手市の当館にもぜひ足を運んでください。

(担当・三浦、榎尾)

高橋萬年展～ふるさとを描く～
10/19(土) - 11/18(日) 「午睡」「飯詰児」など23点

伊藤彌太展～表現の軌跡～
12/20(木) - 平成25年1/30(火) 「男鹿汐瀨崎」「作品」など14点

高橋萬年展会場・県立図書館

♪クリスマスコンサート 12月23日



すきとおる歌声がひびきました♪

ミュージアムコンサートレポート

平成24年度秋田県立近代美術館ミュージアムコンサートIV

横手市立横手南小学校合唱部クリスマスコンサート

ヴァイオリン、二胡、インド古典音楽と続いた今年度のミュージアムコンサート第4弾は、地元の横手南小学校合唱部によるクリスマスコンサートでした。プログラムはクリスマスにちなんだ4曲のメドレーと、これまでに歌った曲を合わせた全8曲。開演とともに36名の透き通った歌声が響き渡ると、会場一同がそのハーモニーに引き込まれ、神聖な雰囲気の中、1曲1曲を味わっている様子でした。聞いているうちに、どんどん温かな気持ちになってくる、そんな素敵なひとときをプレゼントしてくれた合唱部のみなさん、本当にありがとうございました。

(担当・藤井)